

学習状況調査から

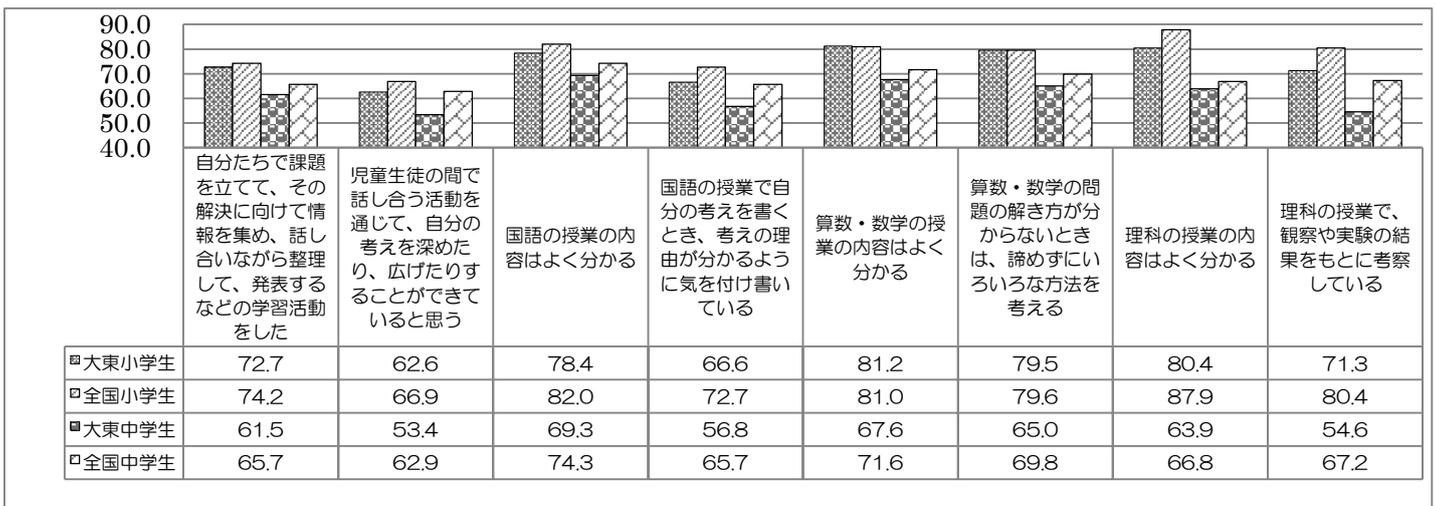
教育委員会では、分析した調査結果を学校での「授業改善の工夫」および児童・生徒の「学習意欲と学力の向上・基本的生活習慣の定着」に役立てるとともに市の教育施策に反映させてまいります。

問教育政策室 ☎870・9643

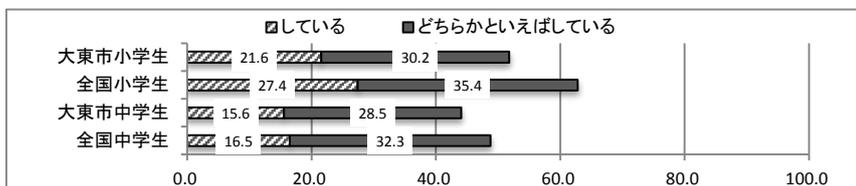
下の表は今年度の小・中学校における「授業改善」関連のアンケートを全国と比較したものです。「授業の内容はよく分かる」の項目で、小学校の算数で全国平均を上回っています。また小学校の「算数で問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考える」の項目も全国平均に近い結果となっています。また、授業における「アクティブ・ラーニング」の質問項目（一番左の質問）についても、全国に近い結果となっており、学校での授業改善の成果がみられます。

一方で、国語における「自分の考えを書くとき、理由が分かるように気をつけて書いている」など、依然として「書くこと」に関しては課題が見られます。また、理科における「観察や実験の結果をもとに考察している」にも課題があります。

＜「授業改善」関連質問紙調査結果＞ 下記の棒グラフは左から、大東小学生→全国小学生→大東中学生→全国中学生の順

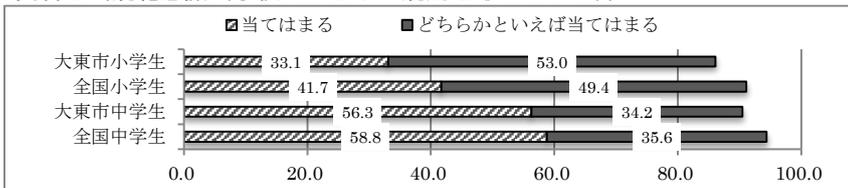


資料1 〈家で、自分で計画を立てて勉強していますか〉



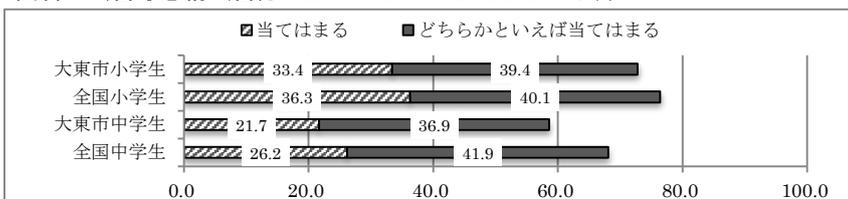
資料1は、計画を立てての家庭学習のグラフです。宿題については、以前より大東市の子どもたちは全国とほぼ変わらずやっているという結果が出ています。

資料2 〈規範意識（学校のきまり・規則を守っている）〉



しかし、「自分で計画を立てての家庭学習」は全国より低い傾向がみられます。主体的な学びをめざすためにも、計画をしっかりと立てることが大切です。

資料3 〈自尊感情（自分にはよいところがあると思う）〉



資料2は規範意識です。全国よりやや低い傾向が見られます。学校のきまり(規則)を守ることは、落ち着いた学習環境をつくるもとになります。

資料4 〈日常生活習慣と学力（正答率）の関係 インターネット等の時間〉

| 項目 | 回答 | 小学校 | | | | | 中学校 | | | | |
|--|----------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| | | 国語A | 国語B | 算数A | 算数B | 理科 | 国語A | 国語B | 数学A | 数学B | 理科 |
| 普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの日、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか(携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く) | 3時間以上 | 55.9 | 48.9 | 60.5 | 29.8 | 44.4 | 68.1 | 61.0 | 54.1 | 30.4 | 41.4 |
| | 1～3時間 | 59.1 | 52.1 | 66.9 | 34.6 | 49.0 | 72.2 | 65.8 | 63.8 | 38.8 | 50.6 |
| | 1時間より少ない | 66.5 | 63.8 | 76.0 | 43.6 | 57.0 | 72.5 | 64.5 | 64.2 | 41.3 | 51.6 |
| | 持っていない | 61.6 | 56.5 | 72.3 | 38.6 | 53.7 | 72.9 | 64.2 | 63.2 | 39.3 | 51.6 |

資料3は自尊感情です。こちらも全国よりやや低い傾向が見られます。ご家庭でも子どもたちの良いところをほめて、伸ばしてください。

また資料4のとおりインターネットの時間と学力との間には、大きな関係があります。時間を決めて使用することが大切です。